

2002年の登録例の解析結果のまとめ

1. 良性腫瘍の部位別割合

1) 男性に関して：

- ① 良性腫瘍の中で最も割合の大きいのは、結腸（65.9%）であり、以下、皮膚（7.5%）、胃（7.0%）、直腸（6.8%）の順である。
- ② 結腸と直腸を合わせた良性腫瘍（殆どが腺腫）が72.7%を占めているが、経年的には、1998年76.1%、1999年76.4%、2000年74.9%、2001年74.9%であり、大きな変化はみられない。

2) 女性に関して：

- ① 良性腫瘍の中で最も割合の大きいのは、結腸（35.4%）であり、以下、子宮体部（18.5%）、皮膚（12.1%）、卵巣（8.3%）の順である。
- ② 結腸と直腸を合わせた良性腫瘍（殆どが腺腫）の割合は39.2%であり、経年的には、1998年38.3%、1999年36.3%、2000年38.2%、2001年38.5%であり、大きな変化はみられない。
- ③ 子宮体部の良性腫瘍（殆どが平滑筋腫）の割合は18.5%であるが、経年的には、1998年20.5%、1999年19.9%、2000年19.1%、2001年19.1%と、減少傾向がみられる。

2. 悪性腫瘍の部位別割合

1) 男性に関して：

- ① 悪性腫瘍の中で最も割合が大きいのは、胃（24.3%）であり、以下、結腸（16.3%）、前立腺（11.9%）、直腸（8.1%）、肺（7.8%）の順である。
- ② 結腸と直腸を合わせた悪性腫瘍（大腸がん）の割合は24.4%で、胃の割合とほぼ同じである。経年的には、1998年28.7%、1999年26.4%、2000年25.8%、2001年26.1%と、減少傾向がみられる。
- ③ 胃の悪性腫瘍の割合は24.3%であるが、経年的には、1998年24.6%、1999年25.7%、2000年25.1%、2001年26.2%であり、大きな変化はみられない。
- ④ 前立腺の悪性腫瘍の割合は11.9%であり、経年的には、1998年6.5%、1999年7.9%、2000年8.8%、2001年9.2%と増加傾向は明らかである。
- ⑤ 肺の悪性腫瘍の割合は7.8%であり、経年的には、1998年7.4%、1999年7.9%、2000年8.6%、2001年7.5%であり、大きな変化はみられない。
- ⑥ 肝臓の悪性腫瘍の割合は3.6%であり、経年的には、1998年4.0%、1999年4.0%、2000年3.4%、2001年3.2%であり、大きな変化はみられない。

2) 女性に関して：

- ① 悪性腫瘍の中で最も割合が大きいのは、乳房（16.6%）であり、以下、結腸（16.2%）、胃（15.6%）、子宮頸部（7.2%）、直腸（6.5%）の順である。結腸と直腸を合わせ

た悪性腫瘍（大腸がん）の割合は、22.8%と最も大きい。

3. 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別割合の比較

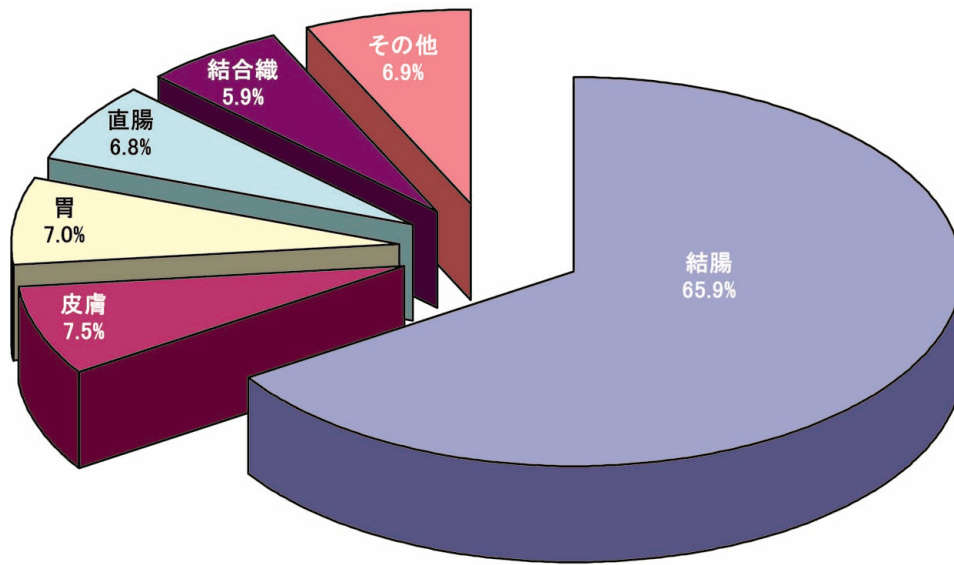
- 1) 男性では、胃がんの割合は、呉（28.6%）と広島中央（29.0%）で大きく、結腸・直腸がんの割合は、広島西（27.7%）で最も大きい。前立腺がんの割合は、備北（21.9%）で最も大きい。肺がんの割合は、尾三（9.7%）で最も大きい。
- 2) 女性では、乳がんの割合は、福山・府中（16.9%）で大きく、備北（14.2%）で最も小さい。胃がんの割合は、福山・府中（19.4%）で最も大きい。結腸・直腸がんの割合は、広島中央（27.8%）で最も大きく、福山・府中（20.2%）で最も小さい。

4. 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の人口10万人あたりの登録数（登録率）の比較

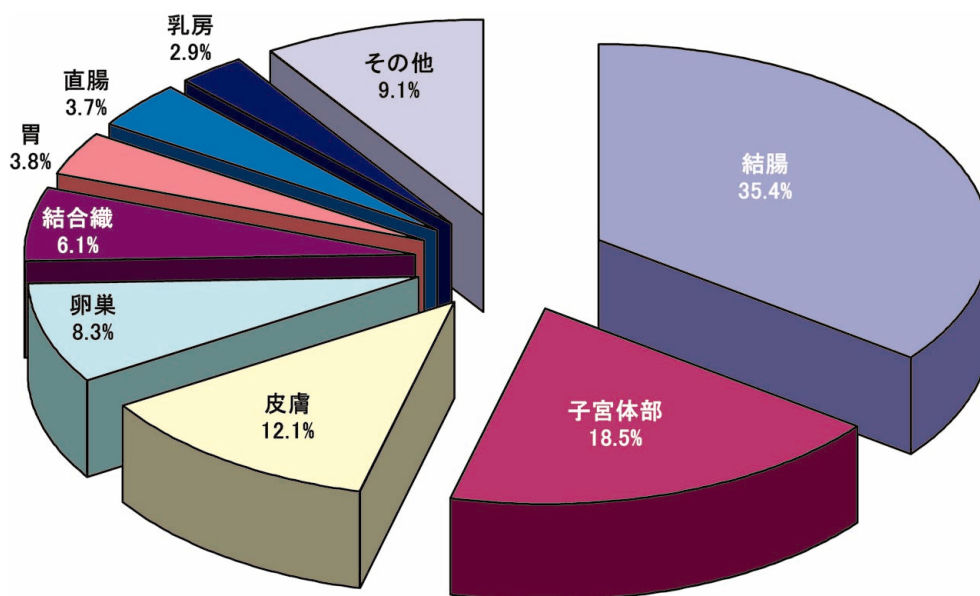
- 1) 全部位で見ると、福山・府中の登録率が極端に低い。本報告書（No. 30）では、これまでの広域医療圏ではなく二次保健医療圏別に示しているが、福山・府中は広域医療圏別で登録率が低かった備後に含まれる地域である。
なお、二次保健医療圏別の集計はあくまで症例の住所地にしたがって区分しているため、住所地が福山・府中の症例の過半数が受診する福山・府中の施設から、住所がほとんど登録されていないことが理由の一つかもしれないと考えられる。
- 2) 福山・府中以外の6つの二次保健医療圏を比較すると、男性では、胃がんは呉で、結腸がん、肺がんは広島西で、前立腺がんは備北で、直腸がんは広島で登録率が高い。女性では乳がんは広島西で、結腸がんは広島で、胃がん、子宮頸がんは備北で、直腸がんは尾三で登録率が高い。

(1) 良性腫瘍の部位別割合

(男性、2002年)



(女性、2002年)



(1) 良性腫瘍の部位別登録数と全体に占める割合 (2002年)

(男性)

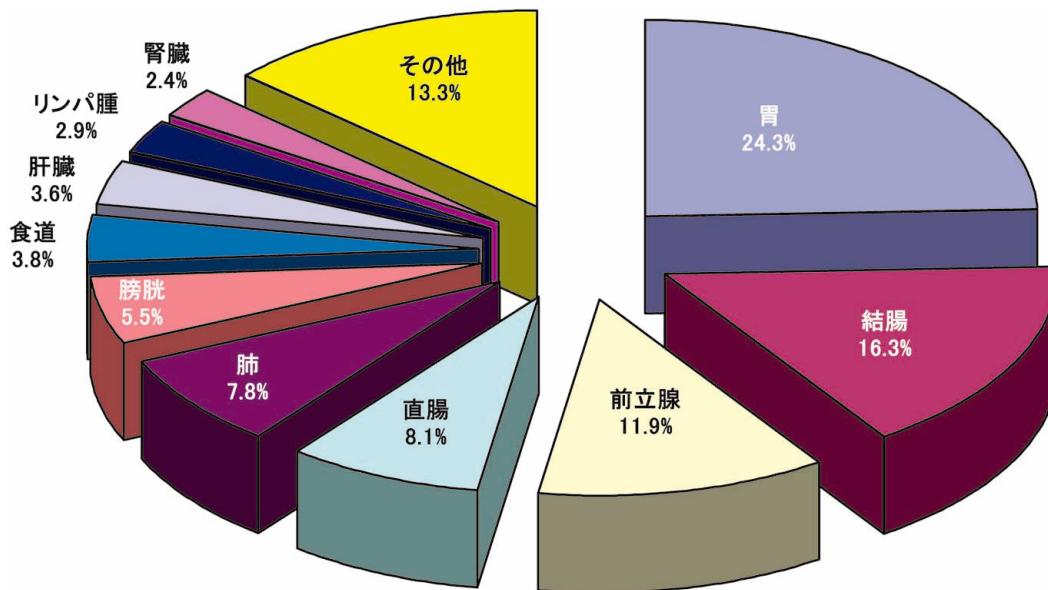
	登録数	割合(%)
結腸	4,776	65.9
皮膚	546	7.5
胃	510	7.0
直腸	493	6.8
結合織	427	5.9
その他	497	6.9
合計	7,249	100.0

(女性)

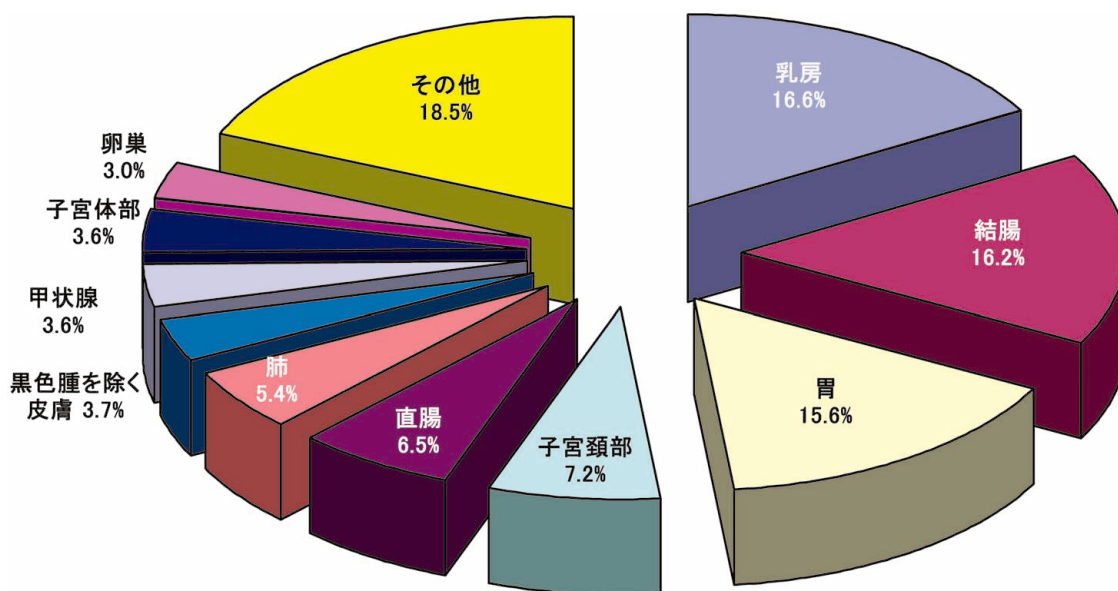
	登録数	割合(%)
結腸	2,478	35.4
子宮体部	1,297	18.5
皮膚	849	12.1
卵巣	584	8.3
結合織	428	6.1
直腸	266	3.8
胃	261	3.7
直腸	206	2.9
その他	637	9.1
合計	7,006	100.0

(2) 悪性腫瘍の部位別割合

(男性、2002年)



(女性、2002年)



(2) 悪性腫瘍の部位別登録数と全体に占める割合 (2002年)

(男性)

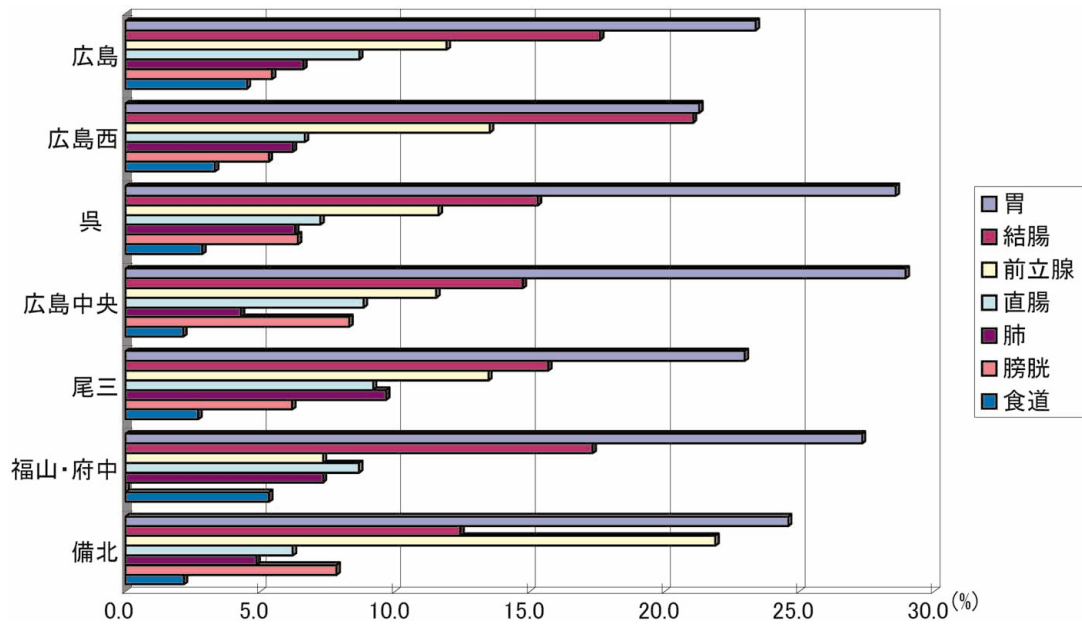
	登録数	割合(%)
胃	1,895	24.3
結腸	1,269	16.3
前立腺	929	11.9
直腸	633	8.1
肺	608	7.8
膀胱	425	5.5
食道	297	3.8
肝臓	283	3.6
リンパ腫	227	2.9
腎臓	191	2.4
その他	1,039	13.3
合計	7,796	100.0

(女性)

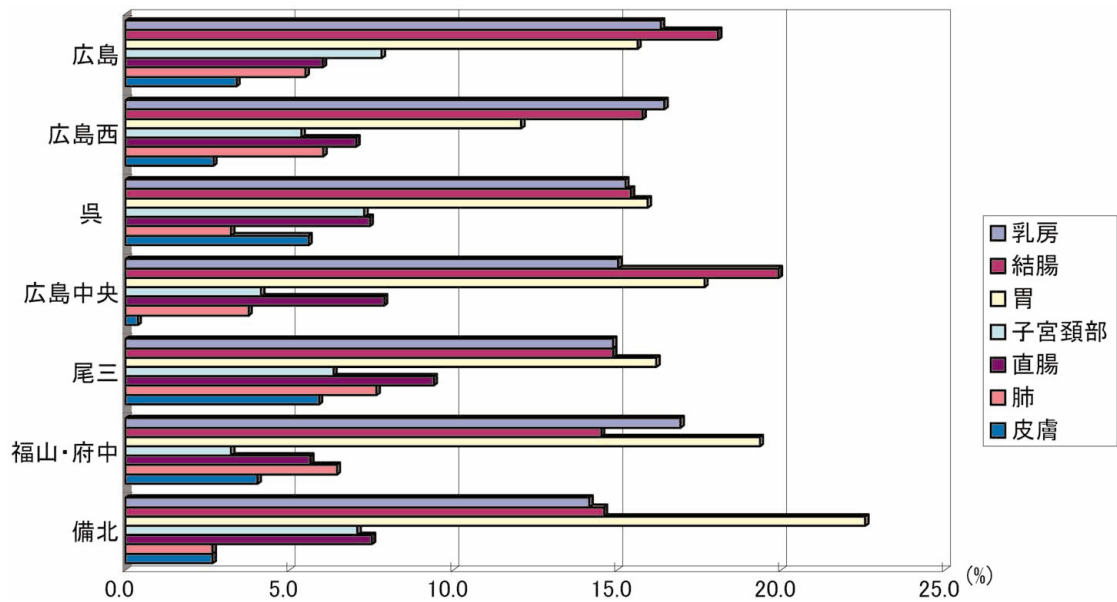
	登録数	割合(%)
乳房	924	16.6
結腸	905	16.2
胃	868	15.6
子宮頸部	401	7.2
直腸	365	6.5
肺	299	5.4
皮膚 (黒色腫を除く)	209	3.7
甲状腺	201	3.6
子宮体部	200	3.6
卵巣	169	3.0
その他	1,033	18.5
合計	5,574	100.0

(3) 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別割合の比較

(男性、2002年)



(女性、2002年)



(3) 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別登録数と全体に占める割合の比較

(男性、2002年)

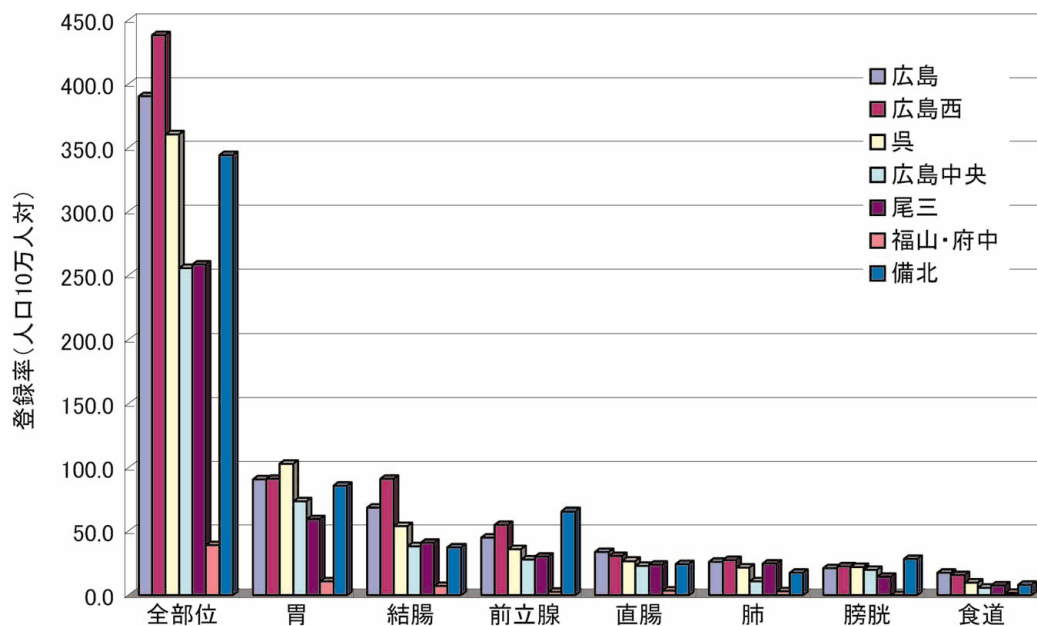
医療圏 部 位	登 録 数 (%)						
	広 島	広 島 西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
胃	752 (23.4)	96 (21.3)	241 (28.6)	108 (29.0)	145 (23.0)	41 (27.3)	91 (24.6)
結 腸	566 (17.6)	95 (21.1)	129 (15.3)	55 (14.7)	99 (15.7)	26 (17.3)	46 (12.4)
前 立 腺	383 (11.9)	61 (13.5)	98 (11.6)	43 (11.5)	85 (13.5)	11 (7.3)	81 (21.9)
直 腸	279 (8.7)	30 (6.7)	61 (7.2)	33 (8.8)	58 (9.2)	13 (8.7)	23 (6.2)
肺	212 (6.6)	28 (6.2)	53 (6.3)	16 (4.3)	61 (9.7)	11 (7.3)	18 (4.9)
膀 胱	175 (5.4)	24 (5.3)	54 (6.4)	31 (8.3)	39 (6.2)	0 (0.0)	29 (7.8)
食 道	145 (4.5)	15 (3.3)	24 (2.8)	8 (2.1)	17 (2.7)	8 (5.3)	8 (2.2)
そ の 他	703 (21.9)	102 (22.6)	183 (21.7)	79 (21.2)	127 (20.1)	40 (26.7)	74 (20.0)
合 計	3,215 (100.0)	451 (100.0)	843 (100.0)	373 (100.0)	631 (100.0)	150 (100.0)	370 (100.0)

(女性、2002年)

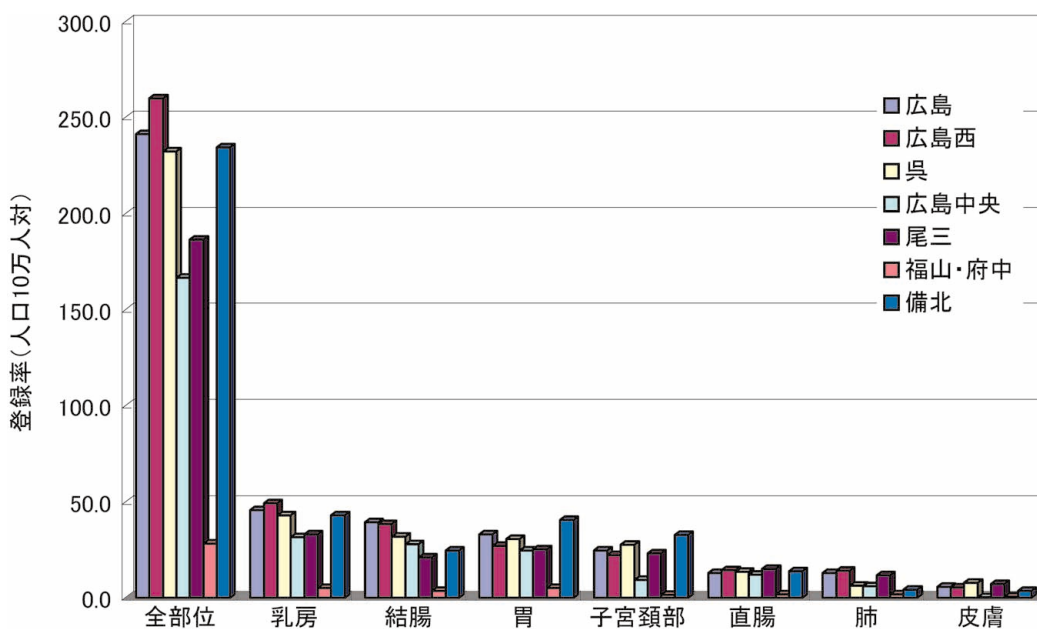
医療圏 部 位	登 録 数 (%)						
	広 島	広 島 西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
乳 房	366 (16.3)	49 (16.4)	90 (15.3)	40 (15.0)	68 (14.9)	21 (16.9)	32 (14.2)
結 腸	405 (18.1)	47 (15.8)	91 (15.4)	53 (19.9)	68 (14.9)	18 (14.5)	33 (14.6)
胃	350 (15.6)	36 (12.1)	94 (15.9)	47 (17.7)	74 (16.2)	24 (19.4)	51 (22.6)
子宮頸部	175 (7.8)	16 (5.4)	43 (7.3)	11 (4.1)	29 (6.3)	4 (3.2)	16 (7.1)
直 腸	135 (6.0)	21 (7.0)	44 (7.5)	21 (7.9)	43 (9.4)	7 (5.6)	17 (7.5)
肺	123 (5.5)	18 (6.0)	19 (3.2)	10 (3.8)	35 (7.7)	8 (6.5)	6 (2.7)
皮 膚 (黒色腫を除く)	76 (3.4)	8 (2.7)	33 (5.6)	1 (0.4)	27 (5.9)	5 (4.0)	6 (2.7)
そ の 他	610 (27.2)	103 (34.6)	176 (29.8)	83 (31.2)	113 (24.7)	37 (29.8)	65 (28.8)
合 計	2,240 (100.0)	298 (100.0)	590 (100.0)	266 (100.0)	457 (100.0)	124 (100.0)	226 (100.0)

(4) 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍登録数（人口10万人あたり）

（男性、2002年）



（女性、2002年）



(4) 二次保健医療圏別・部位別にみた人口10万人あたりの悪性腫瘍登録数（登録率）の比較

(男性、2002年)

	全 部 位		胃		結 腸		前 立 腺	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広 島	3,215	390.3	752	90.6	566	68.4	383	45.0
広 島 西	451	438.1	96	90.9	95	91.1	61	54.8
呉	843	360.2	241	102.6	129	54.1	98	36.1
広 島 中 央	373	255.7	108	73.2	55	38.1	43	27.9
尾 三	631	258.2	145	59.5	99	40.9	85	30.3
福山・府中	150	39.2	41	10.7	26	6.9	11	2.7
備 北	370	344.2	91	85.5	46	37.4	81	65.5

	直 腸		肺		膀 胱		食 道	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広 島	279	33.8	212	25.8	175	21.0	145	17.5
広 島 西	30	30.4	28	27.2	24	22.5	15	15.5
呉	61	26.7	53	21.3	54	22.0	24	9.6
広 島 中 央	33	22.7	16	10.8	31	19.7	8	5.7
尾 三	58	23.9	61	24.5	39	14.5	17	7.7
福山・府中	13	3.3	11	3.0	0	0.0	8	1.8
備 北	23	24.2	18	17.4	29	28.3	8	8.0

注) 登録率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整

(女性、2002年)

	全 部 位		乳 房		結 腸		胃	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広 島	2,240	241.1	366	45.5	405	39.4	350	33.1
広 島 西	298	259.8	49	49.3	47	38.4	36	26.9
呉	590	232.2	90	43.0	91	31.9	94	30.7
広 島 中 央	266	166.4	40	31.4	53	28.0	47	24.7
尾 三	457	186.2	68	33.1	68	21.1	74	25.3
福山・府中	124	28.1	21	5.0	18	3.5	24	5.2
備 北	226	234.3	32	42.9	33	24.7	51	40.5

	子 宮 頸 部		直 腸		肺		皮 膚	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広 島	175	24.6	135	13.0	123	12.8	76	5.7
広 島 西	16	22.2	21	14.4	18	14.1	8	5.4
呉	43	27.5	44	13.4	19	6.2	33	7.7
広 島 中 央	11	9.2	21	11.9	10	5.9	1	0.4
尾 三	29	23.1	43	14.9	35	11.8	27	7.3
福山・府中	4	1.6	7	1.7	8	1.9	5	0.7
備 北	16	32.8	17	13.7	6	4.2	6	3.6

注) 登録率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整

2002年の広島県悪性腫瘍死亡結果のまとめ

1. 悪性腫瘍死亡者数

- 1) 広島県における2002年の悪性腫瘍による死亡者数は男性4,541人、女性2,781人で、前年（2001年）に比べて男性は51人増加し、女性は110人減少した。

2. 悪性腫瘍死亡の部位別割合

- 1) 男性では、肺がんによる死亡の割合が21.8%と最も大きく、次いで肝臓（18.1%）、胃（16.5%）、結腸（5.7%）であった。また、組織登録への提出数が比較的少なく、かつ予後が不良とされている膵臓・食道・胆嚢などの臓器の悪性腫瘍が上位10位以内に入っていた。
- 2) 女性では、胃（14.1%）、肺（12.4%）、肝臓（12.0%）の順であり、以下結腸、乳房、膵臓、胆嚢の順であった。
- 3) ちなみに、同年の全国統計では、男性が肺（22.4%）、胃（17.3%）、肝臓（12.9%）、大腸（11.2%）、女性は胃（14.5%）、大腸（14.2%）、肺（12.7%）、肝臓（9.0%）の順であった。

3. 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別割合の比較

- 1) 二次保健医療圏別に悪性腫瘍死亡の部位別割合をみると、男性では呉で胃がん死亡の割合が高く、広島西で肝がん死亡の割合が高かった。女性では広島西で胃がん死亡の割合が高く、備北で肺がんの死亡の割合が高かった。

4. 二次保健医療圏別・部位別にみた人口10万人あたりの悪性腫瘍死亡数（死亡率）の比較

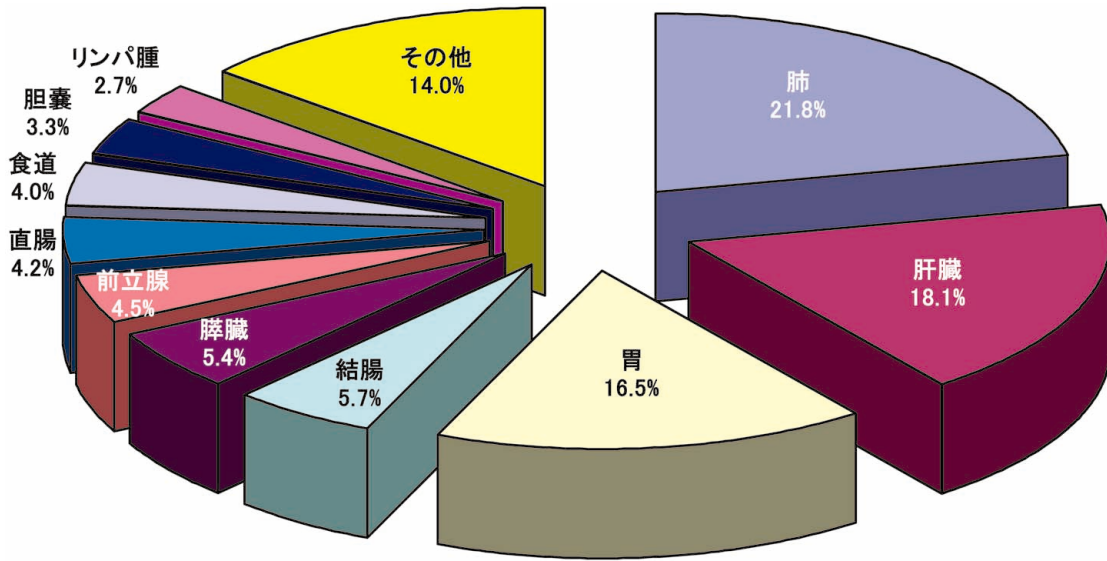
- 1) 1985年日本モデル人口を用いて求めた人口10万人あたりの死亡率（年齢調整死亡率）を二次保健医療圏別にみると、全部位では男女とも呉で最も高かった。
- 2) 二次保健医療圏別・部位別にみると、男性では肺がんと胃がんの死亡率は呉で、肝がんの死亡率は広島西で高く、女性では胃がんの死亡率は広島西で、肺がんの死亡率は呉で最も高かった。

5. 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数および人口10万人あたりの死亡率（参考）

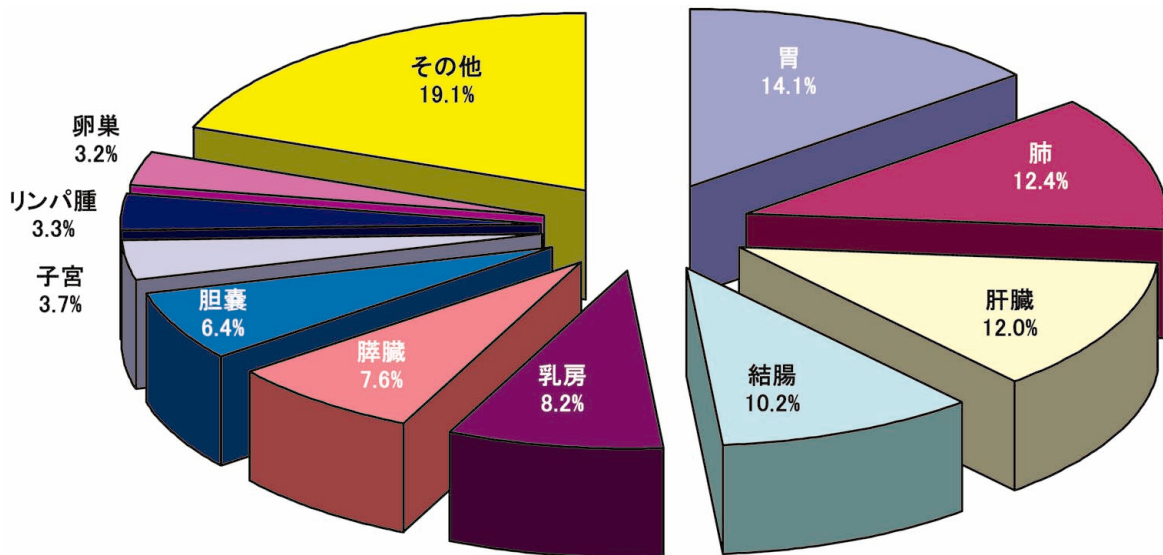
- 1) 広島県における悪性腫瘍死亡率（1985年日本モデル人口で調整）は、男性で人口10万人あたり216.2、女性で95.3であった。ちなみに、同年の全国値は男性205.1、女性99.7であった。
- 2) 部位別にみると、男性の肝臓がんの死亡率は広島県が全国を大きく上回っていた。女性でも肝臓がんの死亡率は全国の死亡率より高かった。

(1) 悪性腫瘍死亡の部位別割合

(男性、2002年)



(女性、2002年)



(1) 悪性腫瘍死亡の部位別死亡者数と全体に占める割合 (2002年)

(男性)

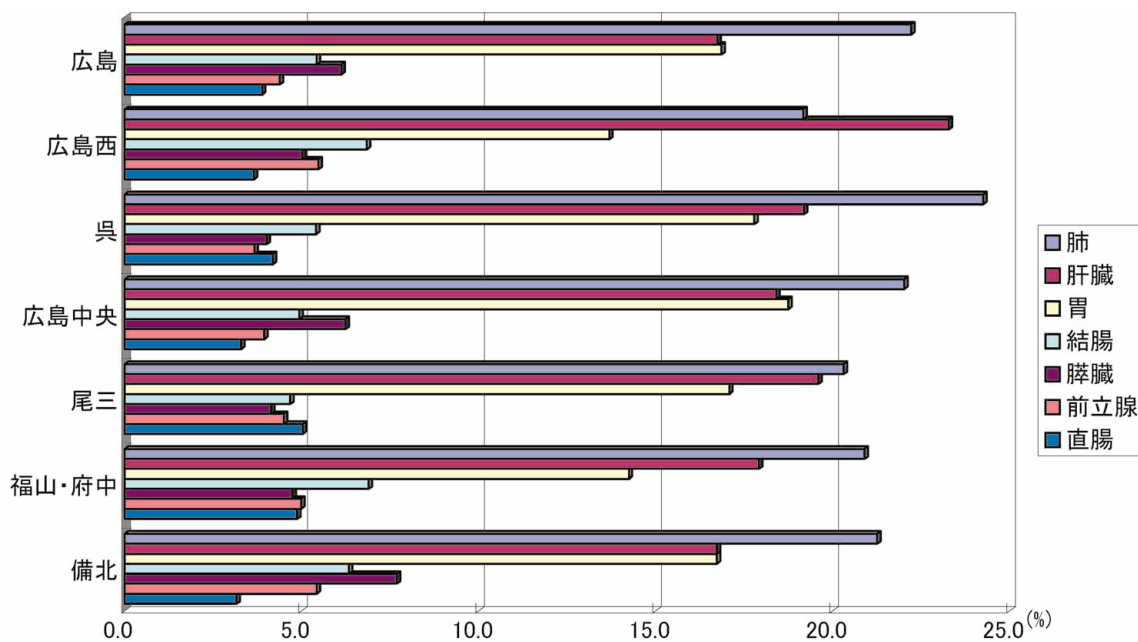
	登録数	割合(%)
肺	990	21.8
肝臓	820	18.1
胃	749	16.5
結腸	258	5.7
膵臓	245	5.4
前立腺	204	4.5
直腸	189	4.2
食道	181	4.0
胆嚢	148	3.3
リンパ腫	122	2.7
その他	635	14.0
合計	4,541	100.0

(女性)

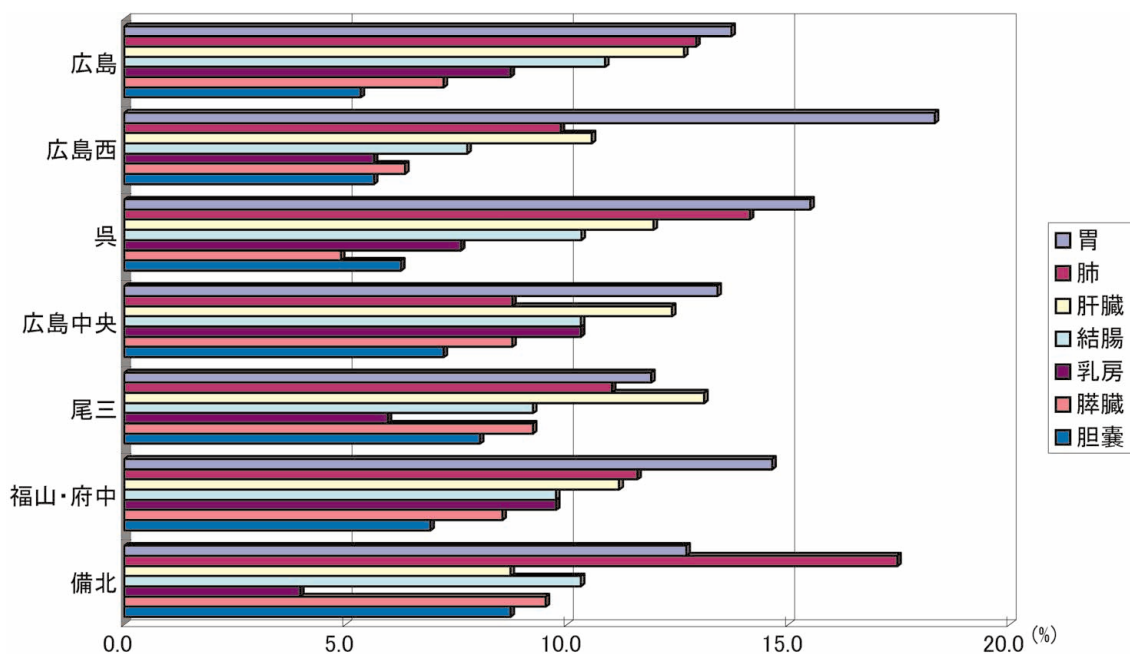
	登録数	割合(%)
胃	391	14.1
肺	344	12.4
肝臓	335	12.0
結腸	283	10.2
乳房	227	8.2
膵臓	210	7.6
胆嚢	177	6.4
子宮	102	3.7
リンパ腫	91	3.3
卵巣	90	3.2
その他	531	19.1
合計	2,781	100.0

(2) 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍死亡の部位別割合の比較

(男性、2002年)



(女性、2002年)



(2) 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別死亡数と全体に占める割合の比較

(男性、2002年)

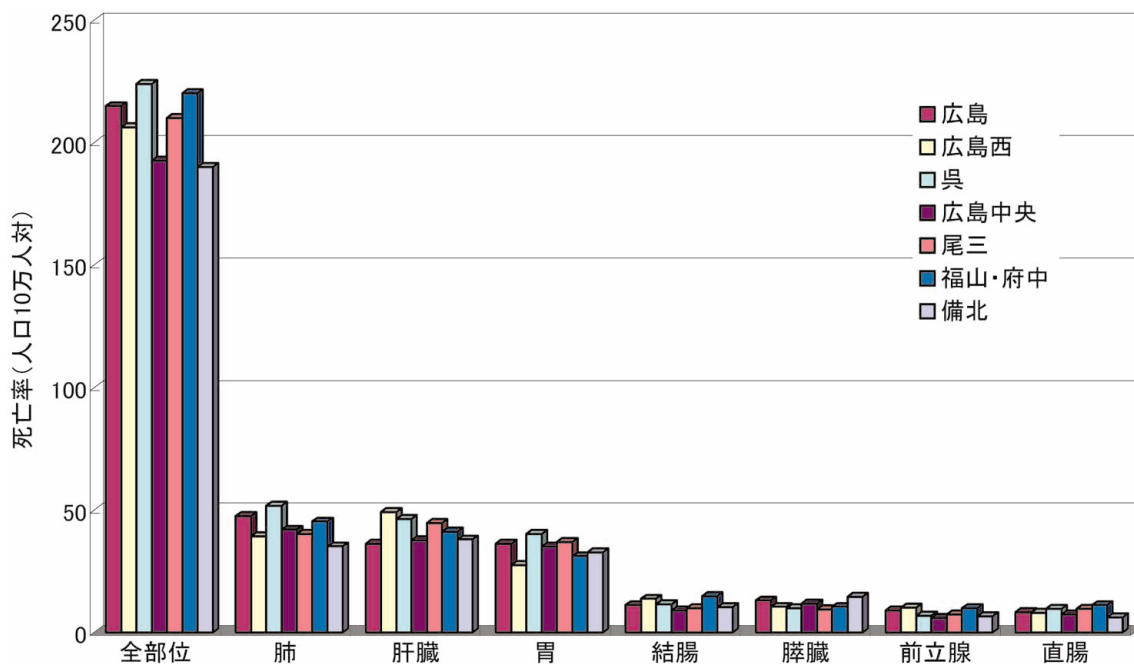
医療圏 部 位	死 亡 数 (%)						
	広 島	広 島 西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
肺	406 (22.2)	42 (19.2)	139 (24.3)	67 (22.0)	113 (20.3)	176 (20.9)	47 (21.3)
肝 臓	306 (16.8)	51 (23.3)	110 (19.2)	56 (18.4)	109 (19.6)	151 (17.9)	37 (16.7)
胃	308 (16.9)	30 (13.7)	102 (17.8)	57 (18.8)	95 (17.1)	120 (14.3)	37 (16.7)
結 腸	99 (5.4)	15 (6.8)	31 (5.4)	15 (4.9)	26 (4.7)	58 (6.9)	14 (6.3)
膵 臓	112 (6.1)	11 (5.0)	23 (4.0)	19 (6.3)	23 (4.1)	40 (4.8)	17 (7.7)
前立腺	80 (4.4)	12 (5.5)	21 (3.7)	12 (3.9)	25 (4.5)	42 (5.0)	12 (5.4)
直 腸	71 (3.9)	8 (3.7)	24 (4.2)	10 (3.3)	28 (5.0)	41 (4.9)	7 (3.2)
そ の 他	444 (24.3)	50 (22.8)	123 (21.5)	68 (22.4)	137 (24.6)	214 (25.4)	50 (22.6)
合 計	1,826 (100.0)	219 (100.0)	573 (100.0)	304 (100.0)	556 (100.0)	842 (100.0)	221 (100.0)

(女性、2002年)

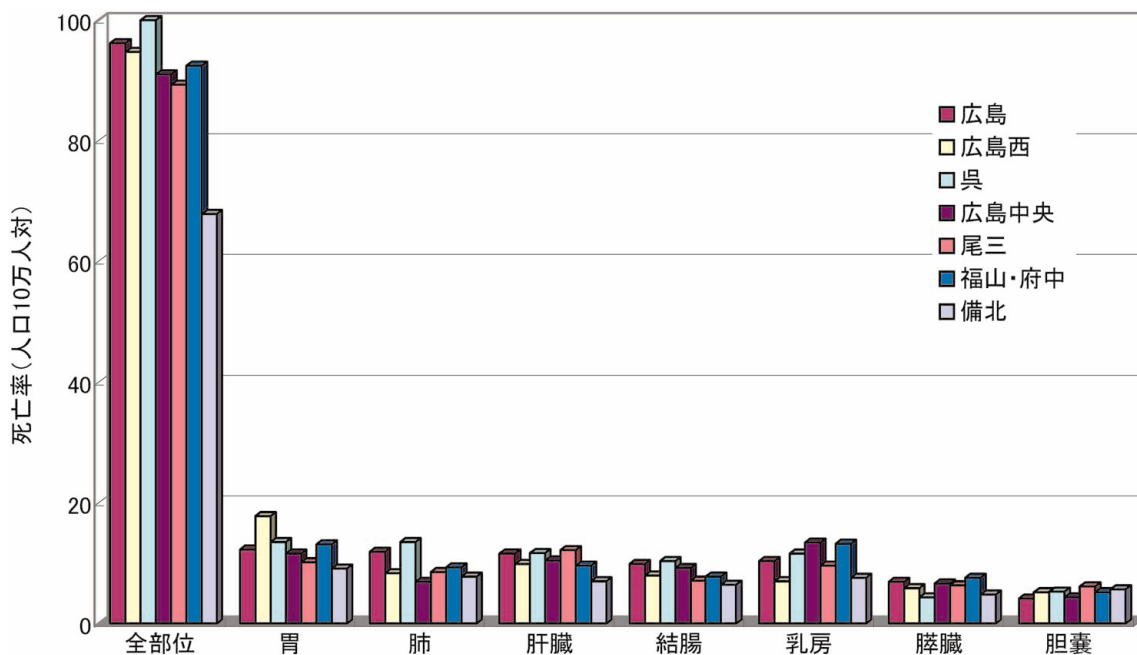
医療圏 部 位	死 亡 数 (%)						
	広 島	広 島 西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
胃	154 (13.7)	26 (18.3)	57 (15.5)	26 (13.4)	40 (11.9)	72 (14.6)	16 (12.7)
肺	145 (12.9)	14 (9.9)	52 (14.1)	17 (8.8)	37 (11.0)	57 (11.6)	22 (17.5)
肝 臓	142 (12.6)	15 (10.6)	44 (12.0)	24 (12.4)	44 (13.1)	55 (11.2)	11 (8.7)
結 腸	122 (10.9)	11 (7.7)	38 (10.3)	20 (10.3)	31 (9.2)	48 (9.8)	13 (10.3)
乳 房	98 (8.7)	8 (5.6)	28 (7.6)	20 (10.3)	20 (6.0)	48 (9.8)	5 (4.0)
膵 臓	81 (7.2)	9 (6.3)	18 (4.9)	17 (8.8)	31 (9.2)	42 (8.5)	12 (9.5)
胆 嚢	60 (5.3)	8 (5.6)	23 (6.3)	14 (7.2)	27 (8.0)	34 (6.9)	11 (8.7)
そ の 他	321 (28.6)	51 (35.9)	108 (29.3)	56 (28.9)	106 (31.5)	136 (27.6)	36 (28.6)
合 計	1,123 (100.0)	142 (100.0)	368 (100.0)	194 (100.0)	336 (100.0)	492 (100.0)	126 (100.0)

(3) 二次保健医療圏別・部位別にみた人口10万人あたりの悪性腫瘍死亡数（死亡率）の比較

(男性、2002年)



(女性、2002年)



(3) 二次保健医療圏別・部位別にみた人口10万人あたりの悪性腫瘍死亡数（死亡率）の比較

(男性、2002年)

	全 部 位		肺		肝 臓		胃	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広 島	1,826	214.8	406	47.5	306	36.2	308	36.2
広 島 西	219	206.2	42	39.3	51	49.2	30	27.5
呉	573	223.8	139	51.8	110	46.3	102	40.2
広 島 中 央	304	192.6	67	42.0	56	37.6	57	35.1
尾 三	556	209.9	113	40.2	109	44.7	95	36.9
福山・府中	842	220.2	176	45.3	151	41.2	120	31.2
備 北	221	190.0	47	35.2	37	38.0	37	32.7

	結 腸		膵 臓		前 立 腺		直 腸	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広 島	99	11.2	112	13.1	80	9.0	71	8.3
広 島 西	15	13.8	11	10.5	12	10.1	8	8.1
呉	31	11.5	23	10.0	21	6.8	24	9.6
広 島 中 央	15	8.9	19	11.9	12	6.0	10	7.3
尾 三	26	9.9	23	9.5	25	7.4	28	9.7
福山・府中	58	14.9	40	10.5	42	9.9	41	11.2
備 北	14	10.3	17	14.7	12	6.7	7	6.1

注) 死亡率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整

(女性、2002年)

	全 部 位		胃		肺		肝 臓	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広 島	1,123	96.1	154	12.3	145	11.9	142	11.6
広 島 西	142	94.7	26	17.8	14	8.3	15	9.9
呉	368	100.5	57	13.5	52	13.5	44	11.7
広 島 中 央	194	91.0	26	11.6	17	6.9	24	10.5
尾 三	336	89.3	40	10.2	37	8.5	44	12.2
福山・府中	492	92.4	72	13.1	57	9.3	55	9.6
備 北	126	67.8	16	9.1	22	7.8	11	7.0

	結 腸		乳 房		膵 臓		胆 嚢	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広 島	122	9.9	98	10.4	81	6.9	60	4.1
広 島 西	11	8.0	8	7.0	9	5.9	8	5.2
呉	38	10.4	28	11.6	18	4.3	23	5.3
広 島 中 央	20	9.2	20	13.4	17	6.6	14	4.3
尾 三	31	7.1	20	9.6	31	6.3	27	6.1
福山・府中	48	7.8	48	13.2	42	7.6	34	5.2
備 北	13	6.4	5	7.6	12	4.8	11	5.7

注) 死亡率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整

(参考) 広島県および全国の人口10万人あたりの悪性腫瘍死亡数 (死亡率)

(男性、2002年)

	全 部 位		肺		肝 臓		胃	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	4,511	216.2	984	46.1	809	40.0	741	35.4
全 国	184,033	205.1	41,146	45.3	23,815	26.7	31,788	35.3

	結 腸		膵 臓		前 立 腺		直 腸	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	257	12.1	245	11.7	204	-	188	9.1
全 国	12,556	13.9	10,787	12.1	8,105	8.5	8,012	9.1

(女性、2002年)

	全 部 位		胃		肺		肝 臓	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	2,761	95.3	389	12.6	341	10.8	331	10.9
全 国	120,535	99.7	17,425	13.8	15,259	11.8	10,822	8.5

	結 腸		乳 房		膵 臓		胆 嚢	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	282	9.3	227	10.9	206	6.5	176	5.0
全 国	12,417	9.5	9,604	10.8	9,350	7.2	8,438	5.9

資料) 人口動態統計

注) 死亡率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整

2002年の広島県腫瘍登録の登録精度

広島県腫瘍登録事業では、従来の県内医療機関からの届出に加えて1998年より死亡小票情報に基づく悪性腫瘍症例の補完が可能となった。

2002年に広島県腫瘍登録に新規登録された悪性腫瘍総数は13,370件だが、県外居住者を除外し、地域がん登録で一般的に用いられる多重がん判定基準（注）を適用すると、広島県の悪性腫瘍（上皮内がんを除く）登録数は11,949件となった。さらに、この件数をベースに悪性腫瘍による死亡例7,322例を含めたがん登録統合作業を行うと、悪性腫瘍によって死亡したにもかかわらず広島県腫瘍登録に届出がなかった症例が3,628件確認され、登録症例11,949件と合わせて、同年の広島県における悪性腫瘍罹患数は15,577件となった。この3,628件がいわゆる DCO（Death Certificate Only）例で、悪性腫瘍罹患総数中の割合が地域がん登録の登録精度を示す指標となっている。

DCO は死亡するまで地域の腫瘍登録に届出されることのなかった症例と言い換えることができる。したがって、この割合が高いほど登録精度が不良であることを示す。2002年の広島県の DCO 割合は23.3%（=3,628/15,577）であり、全国30余の地域がん登録のものと比較しても、高くはなかった。二次保健医療圏別の DCO 割合をみると、福山・府中では77.3%を示し、他医療圏と比較して登録精度がかなり低いことがわかった。なお、二次保健医療圏別の集計はあくまで症例の住所地にしたがって区分しているため、住所地が福山・府中の症例の過半数が受診する福山・府中の施設から、住所がほとんど登録されていないことが理由の一つかもしれないと考えられる。逆に、広島、広島西の DCO 割合は20%未満で、広島県全体よりも登録精度は良好であった。

	広島県	広島	広島西	呉	広島中央	尾三	福山・府中	備北
罹患数	15,577	6,401	850	1,792	897	1,554	1,302	755
登録数	11,949	5,206	708	1,395	682	1,072	295	570
死亡数	7,322	2,949	361	941	498	892	1,334	347
DCO 数	3,628	1,195	142	397	215	482	1,007	185
DCO 割合(%)	23.3	18.7	16.7	22.2	24.0	31.0	77.3	24.5

（広島全体における値と各医療圏における値の総和が一致しないのは、登録例および死亡例の詳細住所情報を欠くことによる）

（注）：地域がん登録で一般的に用いられる多重がん判定基準は複雑多岐にわたるが、1例を挙げれば、「術前生検と手術における病理組織診断が同一であれば1個のがんと判定する」、「尿路上皮がんの異所性再発は、複数のがんと判定せず、ひとつのがんと判定する」、「両側臓器のうち、両側卵巣に発生したがん（同一組織型）は1個と判定する」、「肝臓の複数の部位に発生した肝細胞がんは、1個のがんと判定する」などがある。